

特集●ノロウイルス—ウイルス性下痢症

ノロウイルス感染症

① ノロウイルス感染症 ————— 国立感染症研究所感染症情報センター 西尾 治

② 近年のノロウイルス感染症の疫学的特徴 ————— 国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部門 野田 衛

③ ノロウイルス感染症の集団発生と対応

————— 東京都福祉保健局健康安全室 富樫 哲也・山科 美絵・桜山 豊夫

④ 保健所におけるノロウイルス対策の実践 ————— 大分県日田玖珠県民保健センター 大神 貴史

その他のウイルス性下痢症の集団発生事例

① ロタウイルス感染症 ————— 岡山県環境保健センター 葛谷 光隆

② アデノウイルス感染症・アストロウイルス感染症 ————— 東京都健康安全研究センター 森 功次

③ サポウイルス感染症 ————— 千葉県衛生研究所 岡田 峰幸・篠崎 邦子

④ アイチウイルス感染症 ————— 愛知県衛生研究所 山下 照夫・伊藤 雅・皆川 洋子

●視点

公衆衛生への視座 ————— 厚生労働省国立保健医療科学院疫学部 谷畑 健夫

●トピックス

保健所における麻しん対応—大学での集団感染事例を通して ————— 東京都八王子保健所 田中 敦子・他

あ と が き

1978年にアルマ・アタで行われたWHOの会議において、保健医療の潮流として途上国、先進国を問わずプライマリ・ヘルス・ケアを目指すとの宣言がなされました。これが有名な「Health for All」であります。わが国の国民健康づくり運動もこの流れを受けてはじまったものです。地域に、保健、医療と住民との活動の場として保健センターを設ける。保健センターに保健師を配置する。地域医療に関わる諸団体にも参画いただく。そこには新しい地域保健医療活動創出の夢が描かれていたように思います。

この壮大な夢の実現は、今なお完成しているとは言えません。地域の人々に対して、疾病予防、健康管理、医療、在宅ケアを地域で包括的に提供するためには、地域の中にハブ的な役割を果たす組織や機能を育てていくことが必要と考えられます。英国社会においてはこの役割を長

年一般医に負わせていましたが、健康づくり、疾病予防、地域ケアなどの幅広い保健医療活動を展開していくために、「プライマリケアトラスト」という組織機構に組み替える、大きな制度改革がブレア政権下で行われました。

本稿でご紹介いただきました公立みつぎ総合病院における地域包括ケアシステムの状況は、日本版プライマリヘルスケアトラスト活動が実現できていると思われました。共通することは、公的な医療機関の活動に、保健、福祉、介護の活動がアタッチして地域の包括的ケア活動が展開されているという点であります。

最後に、制度改革の難しい時期にもかかわらず、本企画の依頼に応えていただき玉稿をいただきました各執筆者の皆さんに感謝申し上げます。

(高鳥毛敏雄)

公衆衛生(第71巻 第11号) 2007年11月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円+税 5%) (2007 年々ぎめ予約購読料 28,200 円 ※配送料弊社負担)

発行: 株式会社 医学書院 代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室直通 TEL (03) 3817-5718 FAX (03) 3815-7802

販売部直通 TEL (03) 3817-5659・5660 FAX (03) 3815-7804

E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp 振替口座 00170-9-96693 番

印刷所: 三美印刷(株) TEL (03) 3803-3131

広告申込所: (株) 東広社 TEL (03) 3409-8803/デザイン: デザイン・プレイス

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2007, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ **JCLIS** (© 日本著作出版権管理システム委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田 羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

林 謙治 国立保健医療科学院

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部・衛生研究所

品川 靖子 東京都杉並区杉並保健所

高鳥毛敏雄 大阪大学・社会環境医学

西田 茂樹 福島県衛生研究所

編集室通信

今月で 3 回目を迎えました。連載「PHN に会いたい」ノンフィクション作家の荘田さんが全国各地に飛んで、保健婦魂を持ったパブリックヘルスナースの活動や、周辺の公衆衛生従事者、地域住民の反応を紹介してください。全 18 回の予定。今、現場の保健師さんは、上からの「法律」に縛られ、翻弄されていますが、それでも住民の護り手という本来業務を忘れず、地道に一生懸命住民と向き合い公衆衛生活動をなさっている保健師さんが確かにいることに、励まされます。この 7 月に突然ご息を亡くされ、辛い状況の中でも、保健師さんの本物の仕事を今、伝える必要があるのだと、情熱を込めて渾身の思いで、毎月取材しお原稿を書き上げてくださる荘田さんの姿にも感謝です。(野中)

(担当/野中・天野)